＜５年間における具体的方策＞

基本施策１４　優れた才能や個性を伸ばす多様で高度な学習機会等の提供

【基本的考え方】

○　社会全体の変化や新たな価値を主導・創造する人材等を育成するためには，初等中等教育段階から，「社会を生き抜く力」を育成し，各分野に興味・関心を有する子どもの裾野を拡大するとともに，その才能を見いだして，創造性やチャレンジ精神などをより一層伸ばしていくことが必要である。

○　このため，意欲と能力のある児童生徒等に対し，ハイレベルな学習機会や切磋琢磨する場を提供することが求められ，これまで活用事例の少ない大学への飛び入学促進，高等学校段階における早期卒業制度の検討や，先進的な教育を受ける機会の提供や全国レベルで競い合う科学の甲子園等の推進を含めた理数教育の充実などを図る。

【主な取組】

１４－１　優れた才能や個性を伸ばす仕組みの推進

・　一人一人の能力を伸ばすための教育の推進を図るため，子どもの成長に応じた柔軟な教育システム等の構築に向けて，基本施策１０－１に記載した取組を進める。

　特に高校と大学の接続については，飛び入学に関して，制度の活用を図り，各大学における積極的な取組を引き続き促すとともに，高等学校段階における早期の卒業を認める制度の検討などを行う。

・　中学校卒業後からの５年一貫の特色ある専門教育により，優れたものづくり人材の養成を行う高等専門学校について，基本的な施策を体系的に整理し，推進することを通じて，その機能強化を図る。

・　ユニバーサル段階の身近な高等教育の一つとして，また，地域と連携・協力して多様な学習機会を提供する知識基盤社会での土台づくりの場として，短期大学の役割や機能の再構築の検討を深める。

　また，教育機関と産業界等との連携により，質の高い実践的職業教育の充実を図る。

１４－２　理数系人材の養成

・　スーパーサイエンスハイスクールの取組を充実させるとともに，科学の甲子園，国際科学技術コンテスト，サイエンス・インカレ等の参加者数を増加させる。これらを含め，理数系人材の養成に向けた取組を総合的に推進することにより，理数好きの生徒等を拡大するとともに，優れた素質を持つ生徒等を発掘し，その才能を伸ばし，科学技術人材を戦略的・体系的に育成・確保する。特に，女子生徒・学生向けのガイダンスの充実等により，女性が理数系に進む割合が少ない状況の改善を図る。

・　２０～３０年後の社会経済を見通した理工系人材の育成・確保に向け，教育機関，産業界，関係府省が連携した取組を促進する。

１４－３　スポーツ，文化芸術に秀でた人材の養成

・　スポーツ基本計画に基づき，国際競技力の向上に向け，関係団体等と連携し，発掘・育成・強化の各段階において，優れた素質を有するジュニアアスリートをトップアスリート層まで引き上げるための人材養成システムを構築する。

・　新進芸術家に対する国内外での研修機会や成果を還元する機会の提供を充実するとともに，劇場，音楽堂等の事業を行うために必要な専門的人材の養成に対し支援する。また，子どもたちに一流の文化芸術に触れる機会を提供し，将来の芸術家や観客層の育成を図る。

基本施策１５　大学院の機能強化等による卓越した教育研究拠点の形成，大学等の研究力強化の促進

【基本的考え方】

○　産学官の参画を得つつ世界を牽引するリーダーを養成するため，博士課程を中心とする大学院教育の抜本的な改革・強化を図るとともに，独創的で優秀な研究者を養成するため，優秀な学生や若手研究者等が自立して学修研究に専念することができる環境を整備する。

○　各大学等の強みを生かした教育研究拠点の形成を促進するとともに，基礎研究をはじめ，独創的で多様な研究を広範かつ継続的に推進するなど，大学等の研究力を強化する。

【主な取組】

１５－１　独創的で優秀な研究者等の養成

・　専門分野の枠を超えた博士課程教育の構築・展開に向けた大学院教育の抜本的改革や産業界など社会と大学院との連携による人材育成等への支援を通じ，大学院修了者が各界各層で活躍する好循環を形成する。あわせて，フェローシップ等の学修研究に専念するための環境の整備や多様な人材を確保するための入試の工夫改善等により大学院に優れた学生や若手研究者を惹き付ける。また，テニュアトラック制（※）等の若手研究者が自立して研究できる環境の整備を行い，優れた研究者の育成，確保を図る。一方で，人材の流動化を図りつつ，博士人材の多様なキャリアパスを切り拓くための産学協働の取組を進める。また，研究の多様性を確保するとともに，男女共同参画社会の構築を促す観点からも，女性研究者の一層の活躍を促進するため，女性研究者が研究と出産・育児等を両立するための取組を推進する。

※ 公正に選抜された若手研究者が，安定的な職を得る前に自立的研究環境で経験を積む仕組み。

１５－２　大学等の研究力強化の促進

・　国際的な頭脳循環のハブとなり世界トップレベルの研究活動・教育活動を行う拠点の形成・発展や，国際水準の研究体制・環境の整備・改善，産学官連携の推進などを通じて，世界で戦える研究力を有する大学等が一定数厚みを持って存在し，国内外において切磋琢磨する競争的環境の醸成等を目指す。

　また，科学研究費助成事業等の競争的資金について，その効果的，効率的な運用等の観点から，基金化などの制度改革の成果，効果を検証しつつ，必要な取組を推進する。

１５－３　イノベーション創出に向けた産学官連携の推進

・　産学連携で研究開発に取り組む「場」の構築による持続的なイノベーション創出のため，革新的研究課題について，大学が総力を結集し，企業が事業化をリードする大規模産学連携研究開発拠点（センター・オブ・イノベーション（C